

基本方針 ① 町民サービス向上につながる庁舎

●窓口サービス機能

- ・町民サービスが主となる窓口はワンフロアに集約し、町民の移動を少なくすることで利便性向上を図ります。

<窓口システムのイメージ>

※方式は今後検討のうえ決定します

項目	①ワンフロアサービス	②ワンストップサービス	③ワンフロアストップサービス
イメージ図	各種窓口をワンフロアで完結 来庁者 窓口 A B C D 町民利用の多い一般窓口 町民利用の少ない専門窓口	ワンストップ窓口で対応 来庁者 ワンストップ窓口 窓口 A B C D 町民利用の多い一般窓口 町民利用の少ない専門窓口	①②の併用 来庁者 ワンストップ窓口 窓口 A B C D 町民利用の多い一般窓口 町民利用の少ない専門窓口
メリット	・来庁者が各窓口へ移動 ・関係課統合方式	・職員が窓口へ出向く ・後方職員ローテーション方式	・一般窓口は職員が出向き、専門窓口へは来庁者が移動
デメリット	・関連窓口の集約配置 ・各窓口の対応が明確 ・空いている窓口から利用することで手続きの効率化が可能	・1カ所で手続きが完結 ・来庁者の移動が少ない ・来庁者が窓口で迷わない	・町民利用の多い一般的な手続きが1カ所で完結 ・専門窓口を設けることでワンストップ窓口の混雑緩和が可能
課題	・来庁者の移動が必要 ・町民が窓口を探しにくい	・職員の移動が必要 ・窓口が混雑しやすい	・専門窓口には来庁者の移動が必要 ・ワンストップ窓口には職員の移動が必要
	・ワンフロアに関連部署を集約するための大きなスペースの確保が必要	・窓口職員の負担の増加 ・システムや組織体制の変更が必要	・的確に案内する職員の育成 ・町民へのわかりやすい案内表示システムが必要

- ・個人情報保護に配慮し、各カウンターには仕切りパネルや相談ブースを設置します。町民の相談対応が多い部署の窓口と同じフロアには、よりプライバシーに配慮した相談室を設けます。

●町民に開かれた議会

- ・議決機関としての独立性を確保するとともに、町民に開かれた施設となるように議場や委員会室などを適切に配置し、閉会期間における多目的な利用についても検討します。

<特集>

湧別町新庁舎 建設等基本計画

町が5月に策定した「湧別町新庁舎建設等基本計画」について、先月号に引き続きお知らせします。今回は5つの基本方針に基づいた新庁舎の整備予定や主な機能について、また、中湧別小学校校舎に配置予定の機能と、新庁舎の階層構成を紹介します。

基本方針 ② 誰もが快適で使いやすい庁舎

●ユニバーサルデザインの導入

・来庁者の利便性を考慮し、安全性、バリアフリーに配慮した動線の整備を行います。

＊ユニバーサルデザイン 障がいの有無、年齢、性別などにかかわらず使いやすいよう建物、空間を設計すること

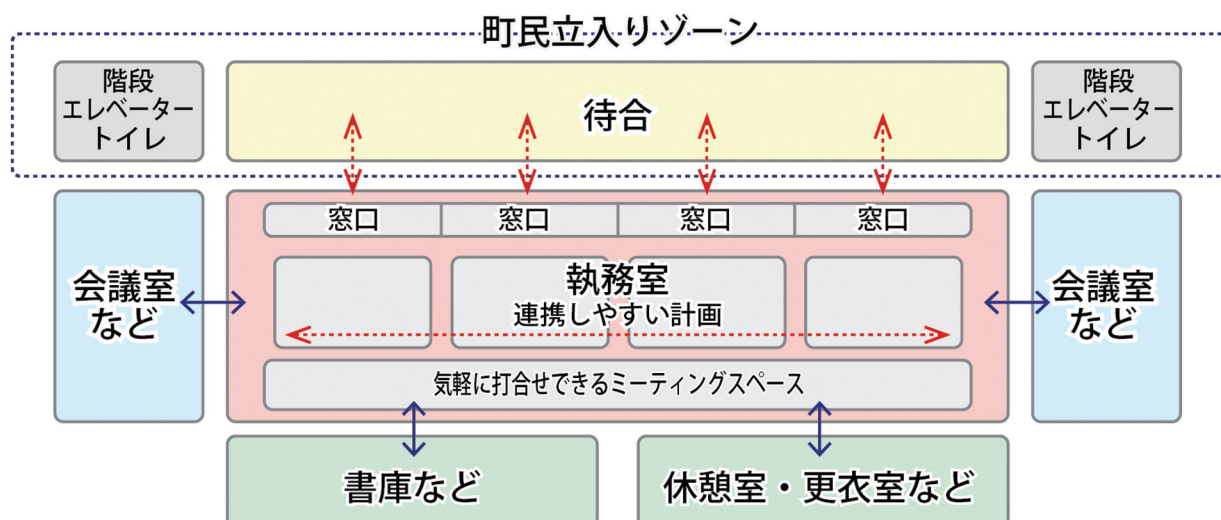
●集約された執務空間

・机を均一化し合理的に配置することで、効率的な執務スペースの活用が可能で将来的な職員数の減少や機構改革にも対応できるユニバーサルレイアウトの考え方に基づく執務空間とします。

●情報管理と防犯を考慮した施設整備

・執務室内は職員専用エリアとして位置づけ、来庁者との対応は、窓口カウンターや執務室外の打ち合わせコーナー、会議室などで行うことを基本とする平面計画を検討します。

<執務空間のレイアウトイメージ>



基本方針 ③ 防災の拠点となる安心安全の庁舎

●災害時の事業継続性

・災害が起きインフラ（水・電気・ガス・油など）が途絶した場合でも外部からの供給なしに庁舎機能を72時間（3日間）維持可能なバックアップ機能を確保します。

●防災備蓄倉庫

・避難所に供給する食料品や災害用毛布などの生活必需品、避難所運営用資機材を常備しておくための防災備蓄倉庫を、改修を行う中湧別小学校の2階へ設置することを検討します。

基本方針④ 省エネルギー・環境負荷低減を考慮した庁舎

●カーボンニュートラル

- ・2050年カーボンニュートラル（脱炭素社会）の実現に向けて、町では今年3月に二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言したところであり、省エネルギー（効率の高い空調・照明機器やBEMSの導入）、創エネルギー（再生可能エネルギーの活用）、蓄エネルギー（大容量バッテリーの導入）について調査・検討を進め、先導的な庁舎を目指します。

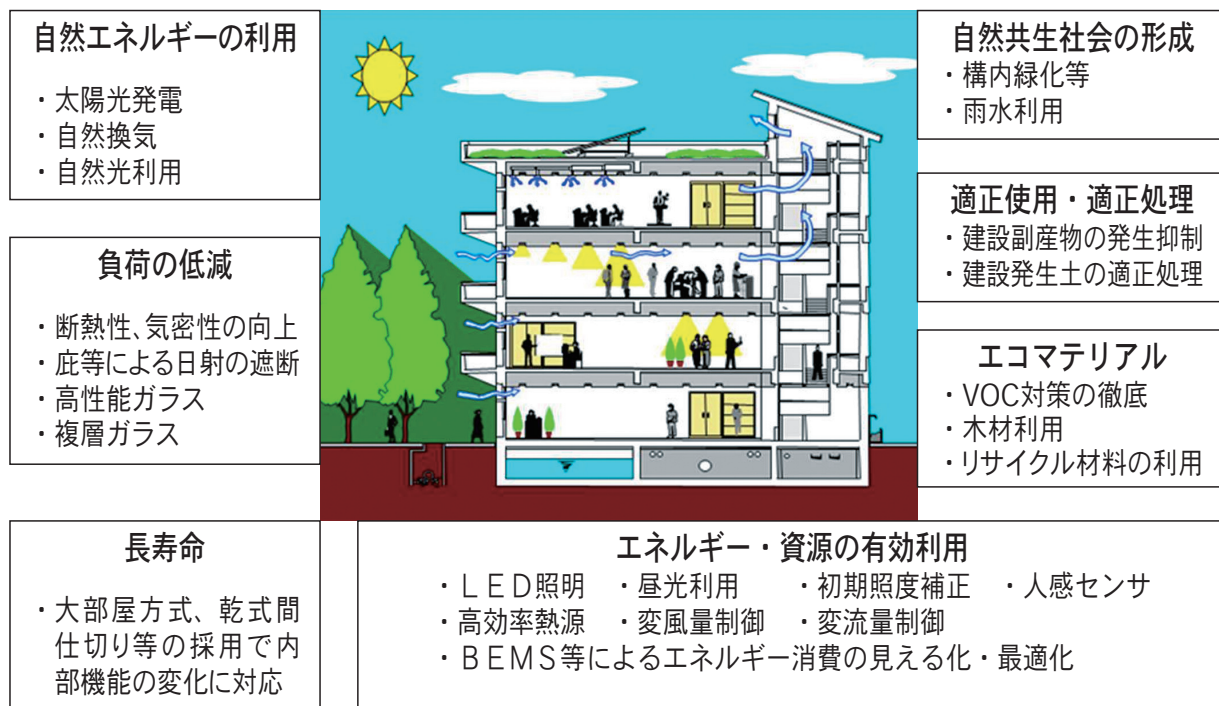
* **BEMS** 建物内のエネルギー使用状況や設備機器の運転状況を把握し、自動制御するシステム

●地場産木材の活用

- ・オホーツク管内で一番の面積を誇る町有林を活用し、建物の内装材や構造材などに地場産木材を利用し、地産地消や環境負荷低減に寄与することを検討します。

<環境負荷低減に配慮した官庁施設 イメージ図>

（国土交通省HPより）



基本方針⑤ 経済的で合理的な永く使える庁舎

●柔軟性・可変性を備えた計画

- ・将来の機構改革や庁舎自体の機能の変化に対応する場合に、大規模工事を必要としないよう、床のOAフロア化や間仕切り壁の移設しやすい工夫、余裕のある天井裏ダクト空間や設備配管スペースについても、将来の施設ニーズ・室利用の変化に対応した柔軟性の高い計画とします。

* **OAフロア** 配線を収納するための二重床

●維持管理を容易にする計画

- ・採用する建築技術や設備については、機能的で汎用性のある資材・システムを採用する方針とし、メンテナンスが容易で、迅速かつ経済的な修繕更新ができるよう配慮します。

中湧別小学校校舎に配置する機能

●保健福祉センター機能

- ・これまで栄町の保健福祉センターで実施されていた集団健診などの活動が支障なく行えるよう、各諸室を配置します。

●児童センター機能

- ・児童クラブ室や遊戯室、図書室、職員室といった児童センター機能諸室を配置します。

●町民利用に関する機能

- ・公設塾、e スポーツスタジアム、木工などのサークル活動拠点や多目的室、子どもが体験しながら遊べるスペースなどを配置します。

●子育て支援センター機能

- ・子育てなどに関する相談・支援の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育て・子育て支援に関する講習などを実施します。

●庁舎機能を補完する機能

- ・会議室は、災害時の町民の一時避難や支援物資の受け入れや提供、救護や救援活動を行うボランティアや災害対策要員の受け入れスペースへの利用も想定します。

●町民の使いやすさに関する機能

- ・バリアフリーに配慮しエレベーターの新設を検討します。

新庁舎・中湧別小学校の階層構成

●新庁舎の階層構成

- ・階層構成は、町民の利便性のほか、業務の効率性や連携などを考慮した配置とします。
- ・浸水時にも庁舎機能を維持するため、自家発電設備や電気室、機械室、サーバー室は2階以上に設置します。

●改修する中湧別小学校の階層構成

- ・1階に小さい子どもが活用する機能を、2階に会議室や書庫などの庁舎補完機能の配置を検討します。

<階層構成イメージ>

